

## 自立活動の学習指導案例

以下に、自立活動の学習指導案の項立ての例を示す。なお、詳細については「特別支援学級及び通級による指導 特別の教育課程編成の手引」（栃木県教育委員会 H31. 2）を参照してほしい。

自立活動学習指導案（例）			
1	題材名	友達と一緒に遊ぼう	
2	児童観 （生徒観）	→・題材に関する児童生徒の実態について記載 （個別の指導計画の目標を記載）	
3	題材観	→・特別支援学校小学部・中学部学習指導要領に示されている自立活動の内容と本題材の関連について記載	
本題材は、「6 コミュニケーション（3）言語の形成と活用」「2 心理的な安定（3）障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲」について記載する。			
4	指導観	→・児童生徒の実態を踏まえた本題材における指導上の配慮等について記載	
5	学習計画		
6	本時		
（1）本時に関する児童（生徒）の実態と関連する内容及び目標			
特別支援学級では、児童生徒の学年や障害の状態等が大きく異なる場合が多いため、学級としての目標を設定することは難しい。そこで、本時の個別目標を設定する形式の指導案例とする。			
	児童（生徒）の実態	関連する内容	目標
A児 3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達とのやりとりでは受け身的な態度になることが多いので、教師が仲介役に入り、絵カード等の活用を促すと自分の思いを伝えることができる。</li> <li>体を動かす活動が好きであり、B児と一緒にゲーム等の活動を進んで行うことができる。</li> </ul>	◎6（3） ◎2（3） 4（5）	友達と楽しく遊びながら、絵カード等を使って自分の気持ちを表すことができる。
B児 5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭による説明では指示が伝わりにくいので、ゲームのルールを文字や写真で確認できるようにすると、安心して取り組むことができる。</li> <li>認め賞賛すると、活動に対して意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>	◎6（3） ◎2（3） 3（4）	友達の意見を聞いて遊ぶ順番を話し合ったりルールを守って遊んだりすることができる。
（2）展開 展開の形式については、A 4横版で作成することも考えられる。			
学習活動	指導上の配慮事項 (A児) (B児)		準備等
1 本時のねらい及び学習の流れを確認することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの授業で取り上げた遊びの中で、2人の好きな遊びを取り上げる。</li> <li>以前の授業で気を付けた点を振り返り、本時は2人で相談して遊ぶ順番を決定することを伝える。<b>2人で遊ぶ順番を相談して遊ぼう。</b></li> <li>本時における個別目標を確認する。</li> </ul>		掲示物
2 遊ぶ順番を2人で相談して遊ぶ。 ・ストラックアウト ・宝探し ・ボウリング ・風船バレー 【6(3)】 【2(3)】	絵カード等を使って気持ちを表そう。 ○自分の気持ちが表せない時は絵カード等を示せるよう支援する。 ○気持ちの表し方、質問の仕方等は教師がモデルを示すようにする。	友達の意見を聞きながら進めよう。 ○話し合いの進行をB児に依頼する。 ○A児の意見を参考に順番を決めた際には賞賛する。難しい場合は教師も話し合いに参加する。	ストラックアウト 宝物 ペットボトル ボール 得点表 風船 絵カード

※学校課題との関連、人権教育との関連等は、児童生徒の実態、活動内容等を踏まえ、柔軟に設定する。